

2025年2月3日
双日株式会社

台湾の雲林洋上風力発電所が商業運転開始 ～再生可能エネルギーの安定供給、脱炭素化に貢献～

双日株式会社(以下「双日」)は、2019年4月に事業参画した雲林洋上風力発電所^{ユンリン オフショア}(Yunlin Offshore Wind Farm、以下「本事業」)について、風車全80基の設置を完了し、2025年1月30日より商業運転を開始しました。洋上風力発電所としては台湾で最大級となる発電能力(640MW)を有し、一般家庭約60万世帯の年間使用電力量に相当するクリーンエネルギー(※)を提供します。本事業の電力量2,400ギガワット時(GWh)は雲林県の一般家庭の電力需要の90%に相当し、地域への電力安定供給と年間約120万トンのCO₂削減に貢献します。



【雲林洋上風力発電所】

本事業は台湾中部の雲林県沖8～17kmの洋上に位置し、82km²のプロジェクトエリアに設置された全80基の風車により発電された電力は雲林県の台西郷と四湖郷の近くにある2つの陸上変電所を經由して台湾電力網を通じ20年間の長期電力売買契約に基づき台湾電力会社に供給されます。允能ウインドパワー社^{ユンネン ウインド パワー}(Yunneng Wind Power Co., Ltd.)を事業主体として、Skyborn Renewables GmbH^{スカイボーン リニューアブルズ}、TotalEnergies SE^{トタルエナジーズ}、Electricity Generating Public Company Limited^{エレクトリシティ ジェネレーティング パブリックカンパニー}と共同で進めています。

双日は中計2026の戦略的強化領域としてエッセンシャルインフラを設定しています。今後も、再生可能エネルギー事業や省エネルギー事業の展開を進め、地域の電力供給の安定化や脱炭素化に貢献していきます。

(※)台湾は、2017年の電業法改正に伴い、2025年までの原子力発電所の完全停止と代替電源としての再生可能エネルギーの導入促進を決定し、再生可能エネルギーによる発電割合を2025年までに20%にすることを目標としています。再生可能エネルギーの中でも特に風力に恵まれた気候条件から、洋上風力発電への期待が高く、開発が進んでいます。

(ご参考)

【雲林洋上風力プロジェクトの概要】

会社名	Yunneng Wind Power Co., Ltd. (允能風力發電股份有限公司)
事業所在地	台湾雲林県沖
発電設備容量	640MW
売電先	台湾電力公司
売電期間	20年間
発電方式	洋上風力発電(着床式)